

施策番号	1901		
施策名	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充		
概要	生涯学習関係機関・団体との連携を密にし、京都ならではの豊富な学習資源を相互に結びつけるとともに、市民に身近な学びの拠点の充実・活用を図る。		
担当局・部室	教育委員会・生涯学習部	共管局・部室	
上位政策	19 生涯学習		
施策に関係する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回数	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	学校における地域の学びの場の創出（箇所数）	a	a	212	212	190	111.6%	a	1.00
2	京都市図書館利用登録者数（万人）	b	c	43.0	41.8	49.3	84.8%	c	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	a	219 33.2%	302 45.8%	106 16.1%	19 2.9%	13 2.0%	659	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	A	令和元	A	令和2	A	施策の目的が十分に達成されている
重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	多彩な市民のニーズに応えられているかは、客観指標よりも実際に利用されている市民の実感に重みを付ける方が適切であるため				

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・生涯学習の情報検索サイトのコンテンツの充実やSNSサービスの活用、生涯学習関係団体相互の連携と情報共有を進めるとともに、学校を活用した様々な事業の実施や、博物館や大学等と連携した多様な学習機会の提供・充実を行うことにより、幅広い世代のだれもがいつでもどこでも学び続けることができる環境づくりを推進する。
- ・京都市図書館については、第4次子ども読書活動推進計画を踏まえ、高校生の読書活動支援の推進、子どもの本コンシェルジュ養成講座の実施を行うとともに、ビジネスや子育て支援等に向けた情報提供など、本市図書館が培ってきた、利用者の相談に応じるレファレンス機能の拡充などについても取り組んでいく。

施策名	1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充						
指標名	学校における地域の学びの場の創出（箇所数）							
担当課	生涯学習部生涯学習推進担当			連絡先	2 5 1－0 4 1 0			
1 指標の説明								
学校と保護者，地域住民の協力の下，市立学校等にビオトープやベンチテーブル等，ふれあい交流活動や開かれた学校づくりを促進する環境を手作りで製作・整備する地域の学びの場（「学校ふれあい手づくり事業」）の創出箇所数								
2 指標の意味				3 算出方法・出典等				
市民ぐるみで子どもたちを育むための地域の参画・協働による学びの場の創出状況を示す指標				出典：事業担当課調べ				
4 数値								
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度		
数値	212	212	増減なし	190	中長期目標値(令和2年度)を段階的に達成していくために，当年度に達成すべき数値	111.6%		
	全国順位	中長期目標			備考			
		数値	目標年次	達成度			根拠	
数値		200	令和2年度	106.0%			学校園総数の約7割相当箇所での実施を目標とする。	
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満				100%以上をaとし，以下20%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2
						a	a	a

指標名	京都市図書館利用登録者数（万人）								
担当課	生涯学習部施設運営担当			連絡先	8 0 1－8 8 2 2				
1 指標の説明									
京都市立図書館の利用登録者数									
2 指標の意味				3 算出方法・出典等					
京都のまち全体が学びの場となることをめざして，市民に最も身近な学びの拠点である図書館の活用状況を示す指標				算出方法：京都市立図書館20館の利用登録者数の合計 出典：事業担当課調べ					
4 数値									
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度			
数値	43.0	41.8	1.2万人減	49.3	中長期目標値(令和2年度)を段階的に達成していくために，当年度に達成すべき数値	84.8%			
	全国順位	中長期目標			備考				
		数値	目標年次	達成度			根拠		
数値	-	50万人	令和2年度	83.6%			平成21年度実績（40万人）の10万人増		
5 評価基準				6 基準説明		平成30		令和元	令和2
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満				100%以上をaとし，以下10%刻みで基準を設定した。		b	c	c	